

事業所名	障がい児通所支援事業所 子ども支援の家 いっぼ
------	-------------------------

公表日 令和 8 年 4 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など / 課題や改善すべき点
環境・整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3			利用児童に応じた教材を準備している。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			初回は2名体制で、落ち着いたら1名体制で利用児等に負担のないようにしている。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3			月に一度スタッフ全員でミーティングを実施しており、年齢や立場に関係なく意見を出し合い、業務改善に活かしている。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			年に1回の事業所評価の内容を職員と共有し検討することと併せ、面談や送迎時の情報共有を密に行い、保護者の意向を把握するように努めている。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			月に一度スタッフ全員でミーティングを実施しており、年齢や立場に関係なく意見を出し合い、業務改善に活かしている。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2		1	第三者による外部評価は行なっていない。スタッフから業務に関する意見を集約し、事業所全体での仕組み作りに活かせるように努めている。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	1		職員全員での研修への参加や、月1のミーティング内で支援に関する情報を全体で確認する時間を設け、スキルアップに繋げている。
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3			見学や、体験時に保護者様から聞き取りとお子様との関わりの中からアセスメントを行い、保育所等訪問計画の内容に反映させている。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			月1のミーティング内でお子様の様子や課題について共有する時間を設け、その内容を放課後等デイサービス計画に反映させている。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3			訪問先の意見を聞きながら保護者、本人の意見をトータルして計画を作成している。訪問先担当者や担任等の意見は計画の中心にはならない。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			保育所等訪問支援計画だけではなく、日々の療育活動につながるように、保育所等訪問支援計画をより具体的に示したアセスメントシートを共有して、お子様の成長に合わせた適切な支援をするように心がけている。
	12	こどもの認知行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		1	標準化されたアセスメントツールを使用していない。日々の行動観察などから得た情報をミーティングで話し合い、アセスメントシートに記載して共有することにより、全スタッフが確認できるような仕組みを整えている。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3			ガイドラインに明示された項目を設定し、お子様の強みを活かして段階的に課題に取り組めるような支援内容を設定している。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3			保育所等訪問支援計画だけではなく、日々の療育活動につながるように、保育所等訪問支援計画をより具体的に示したアセスメントシートを共有して、お子様の成長に合わせた適切な支援をするように心がけている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1		一人で行なっているため、打ち合わせはしていない。担任の先生や支援の先生には共有して支援を行なっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	2		1	担当の先生や支援の先生と振り返りは行なっており、気づいた点の共有をして次回に繋いでいる。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3			事前に話し合いをし訪問先の理念や支援手法は統一して十分に尊重して支援を行なっている。
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3			担当した訪問支援員が記録を作成している。	
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			半年に1回モニタリングを行い、保育所等訪問支援計画書の適切な見直しを行なっている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			管理者または児童発達支援管理責任者が参画しており、事業所内での様子や活動内容を伝えている。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		1	発達相談支援センターが主催する研修を受講し情報収集に努めたり、福祉課等に連絡をとり、地域の現状の情報収集を行なっている。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		1	保育所等訪問のみの利用児は就学先の学校等に共有は行うことができていないが、保育所等から共有してもらうようには伝えている。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	1	1	1	保育所等訪問に限らず研修等に参加して質の向上に努めている。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	1	1	参加したことがない
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			面談時や送迎時、サービス提供記録の中で状況や課題について伝え合い、その内容を全スタッフに共有している。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		保育所等訪問としては実施していない。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			契約時に、通所するのに必要な情報や利用負担額などについて説明している。情報量が多く、一度では理解が難しい内容に関しては、繰り返しお伝えするようして、保護者様の負担軽減に配慮している。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			保育園、小学校については理解は概ねいただいているが、再度説明をし支援に入らせていただいている。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			保育所等訪問支援計画は、面談時に聞き取りした情報を参考にニーズを洗い出し、職員のアセスメントと擦り合わせて原案を作成している。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			面談時に支援内容についてご確認いただき、加筆修正の有無を伺った上でサインをいただいている。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			面談時やお電話にて丁寧に相談に応じるように努めている。また、事業所内での関わりの中で気になった点等を保護者様と共有し、対応について共同して考えるようにしている。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	1		保育所等訪問としては実施していない。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			今年度はまだ申し入れがない。急遽相談等があった場合は迅速に対応できるような体制をとっている。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		保育所等訪問としては実施していない。来年度に向けてHPの開設を決定しています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			お子様の情報に関して学校や保育所等の関係機関と連携する場合は、事前に同意を得るようにしている。
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			来所時や送迎時に情報共有を行うことに加え、連絡帳等を使って視覚的に情報伝達を行うようにしている。また、保護者様の状況に併せて重要度の高い内容や期日が迫っている内容はお電話する等、情報伝達に抜けがないよう努めている。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			相談等があった場合は迅速に対応できるような体制をとっている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			支援後に訪問先の先生と振り返りは行っており、気づいた点の共有をして次回に繋げている。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			支援後に保護者のご都合がいい日にちに面談をさせていただき、支援内容の共有を行っている。
40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			お子様の情報に関して学校や保育所等の関係機関と連携する場合は、事前に同意を得るようにしている。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			訪問先の相談を聞きながら、適切な助言を行い信頼関係を気づいている。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		1	児童発達支援・放課後等デイサービスの併用利用のため、保育所等訪問としては支援を行っていない。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		1	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を実施してお子様や職員の安全管理を行なっている。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			ヒヤリハット報告書を全スタッフが確認できるようにしている。また、ミーティングでヒヤリハット件数等に関する振り返りを行うことで、事業所全体としての危機管理への意識が向上している。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			職員を対象に虐待防止研修を年2回実施した。日々の関わりの中で、不適切な言動が行われないように、研修等で人権意識を高め、職員同士が日々の行動や言動を点検し合いながら、虐待防止に努めている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			職員を対象に身体拘束に関する研修を実施した。社内方針では、やむを得ない場合（他のお子様の安全に関わる場合など）を除き、身体拘束を行わないことが定められている。今年度は全利用児に対して身体拘束は一件も行われなかった。